

科目名	デザイン		英文表記	Design		2017/3/20	
科目コード	1022						
教員名:小松 橋人 技術職員名:						修正	
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
全学科			1年	選	履修	1単位	演習
科目目標 【MCC目標】	デザインの基本的な役割と意義を学び、生活の中に息づく様々なデザインへの興味と理解を培う。 【Ⅷ-D】:課題発見 【Ⅷ-E】:論理的思考力 【Ⅸ-F】:倫理観(独創性の尊重・公共心)						
総合評価	勤怠30%、提出物完成度50%、制作状況・コンセプト等20%						
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の 評価方法	ルーブリック			
				理想的な 到達レベル(優)	標準的な 到達レベル(良)	最低限必要な 到達レベル(可)	セルフ チェック
	20%	① デザイン理論に基づいたコンセプトを立案できる	提出物・形態・制作過程等を総合的に評価する	柔軟な表現方法でイメージを分かりやすく表現できる	適切な手法と用具を用いてイメージを表現できる	想起したイメージを説明できる	
	50%	② 立案したコンセプトに基づいて制作物を完成させることができる	授業態度・計画内容と実践状況等を総合的に評価する	発見した問題を解決できる	自己の制作物を客観視し問題を発見できる	デザイン作業の意義を理解できる	
30%	③ 作品コンセプトを明確に説明することができる	提出内容の表現力・わかりやすさ等を評価する	制作物の持つ特性や魅力をより分かりやすく伝える事ができる	制作物の持つ特性や魅力を伝える事ができる	コンセプト構築の意義を理解できる		
本科・専攻科 教育目標	1	2	3	4			
	○	○	○				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	0	100	100	
基礎理解	①②③				30	30	
応用(実践・専門・融合)	②				20	20	
伝達力(分組作業・ミーティング・プレゼン)	③				20	20	
主体的・継続的学習意欲	①				30	30	
授業概要、方針、履修上の注意	【必須用具】黒ボールペン・シャープペンシル・直線定規(15cm以上) 通常の遅刻・欠席は評価に大きく影響します						
教科書・教材	教員自作資料・見本・映像等						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1		2			
2		2			
3		2			
4		2			
5		2			
6		2			
7		2			
8		2			
9		2			
10		2			
11		2			
12		2			
13		2			
14		2			
15		2			
期末	期末試験	[2]			
16	オリエンテーション	2	講師自己紹介・講義内容説明		
17	デザインの歴史	2	アーツ&クラフツから現代まで		
18	デザイン概論①	2	良いデザインとは		
19	制作実習 ピクトグラム	2	課題・資料説明		
20	制作実習 ピクトグラム	2	コンセプト構築・試作		
21	制作実習 ピクトグラム	2	試作修正・カラー案作成		
22	制作実習 ピクトグラム	2	清書・発表・提出		
23	デザイン概論②	2	書体・専門用語について		
24	グループ実習 部活ポスター	2	課題説明・役割分担		
25	グループ実習 部活ポスター	2	コンセプト立案・試作作成開始		
26	映像講習	2	様々なデザイン		
27	グループ実習 部活ポスター	2	素材作成	素材作成	
28	グループ実習 部活ポスター	2	素材統合・修正	同上	
29	グループ実習 部活ポスター	2	最終調整		
30	グループ実習 部活ポスター	2	グループ毎のプレゼン・講評・提出		
期末	期末試験	[2]	課題提出を以て評価とする		
学習時間合計		60	実時間		45
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①					
②					
③					
備考欄					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)